

「**熱い心**」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



日本一熱く、絆強き一中ここにあり!

『**日本一熱く、絆強き学校**』・一中ここにあり!」を明日の市内音楽会でみせつけることができるか!各学年同士の勝負はもちろん、会場の空気を一中の熱い姿と、絆の強さがピンピン伝わってくる歌声でおおい尽くすことができるか。会場が広い市民会館となり、他校の生徒に見られているという違った環境の中で、思いっきりやっつけてのけることができるか。**歌声は集団の質をあらわすバロメーター!**だ。文化祭での絆づくりの成果が試されるな。これまでの一中の「日本一熱く、絆強き学校」への道の7カ月がどうだったのかが試されるな。ステージにあがった瞬間に、迷わず一人ひとりが殻を破った自分を差し出すことができるかにかかっているね～。一瞬でも人目を気にしたり、仲間の様子をうかがったり、声を出すことをためらったりしたら、そこで勝負あり。だからこそ、やっぱり**信は力なり!指揮者の指先に熱い視線を集めて、一人ひとりの思いをこめた歌声を一本の束にするんだ!**そして、もう一つ大切なことは、一中生全員が**弁論をくいいるように聴くこと。**絆強き集団づくりに最も欠かせないことは、仲間の言葉や思いをくいいるように聴き、真剣に受け止め、本気で応えることだからな。明日は**一中生みんなの力で会場全体を「本気で聴く空気」に変えるんだ。**一中代表の3名頑張れ～。『**日本一熱く、絆強き学校**』・一中ここにあり!」をみせつけろ!

ふるさと津久見を愛す心!

先日行われたふるさと振興祭に吹奏楽部が出演し、好評を得ていました。また、伝統ある津久見地区体育祭では、陸上部を中心とした10名の一中生が、サポートスタッフとして大活躍し、大変感謝されていました。リレー選手として出場した生徒も多く、地域行事に積極的に参加する一中生の姿が素晴らしい。こうやって地域行事に参加することで、日頃気づかない地域を支えている人たちの姿を知り学ぶことができます。**人のために汗を流すことができる津久見の大人の背中から、これからもたくさんのかんことを学んでいこう。**

また、1年生の美術の授業では津久見市の画家・岩尾善幸氏をゲストティーチャーに招き、「その絵…どんな絵?」と題して絵の鑑賞から**感じ取ったことを言葉で仲間**に伝える力を育む授業が行われました。2年生の救命蘇生講習会では、中央病院や消防署などからゲストティーチャーを招き、命を守るために大切なことを多く学びました。今後も地域の方々から学ぶことを通して、**ふるさと津久見を愛する心**を受け継いでいこう。

